

循環型社会形成に向けての物流業界の 取り組み例

社団法人日本物流団体連合会

物流連の概要

・名称: 社団法人日本物流団体連合会

・設立: 平成3年7月8日

・会員数	正会員	84
	団体会員	14
	合計	98
	賛助会員	34
・役員	会長	1名
	副会長	7名
	理事長	1名
	理事	19名
	監事	2名

・事業目的

物流連は、陸・海・空の物流事業者が広く結束し、物流業に係わる横断的課題について施策を確立し、これを推進すること等により、物流業の健全な発達を資することを目的とします。

物流連の事業活動

物流連では、その事業目的を達成するために広範な委員会活動、情報提供活動及物流情
センター業務を三本柱として各種事業を推進しています。

1. 委員会活動の推進

- ①**政策・広報委員会**・・・物流に関する重要課題について、総合的見地に立って取り組みを行
っています。また大学の寄附講座の実施や各種講演会、懇談会の開催など社会貢献や
広報活動を行っている。
- ②**物流効率化委員会**・・・一貫パレチゼーションの推進、新技術への対応、物流情報化の促
進、国際物流への対応など、物流効率化の推進に資する施策などについて取り組んでい
る。
- ③**モーダルシフト・物流拠点委員会**・・・モーダルシフトの推進、物流拠点整備の促進を図るた
めの施策について、具体的にはモーダルシフトフォーラムの開催、都市内物流の改善方法
などについて取り組んでいる。
- ④**環境問題委員会**・・・物流と環境問題について、調査研究や施策の推進を図るとともに、物
流部門における環境意識の高揚に努める一方、物流事業者の環境問題に対する取り組み
姿勢を広く社会にアピールしている。
- ⑤**経営問題委員会**・・・物流業における経営上の諸問題、具体的には運賃・料金問題、安全
問題、労働力問題、国際物流競争力等に関する調査研究や施策の推進について取り組ん
でいる。

環境問題への取り組み

1. 「グリーン物流パートナーシップ会議」の開催

2. 「モーダルシフトフォーラム」の開催

物流業界のみならず広く社会にモーダルシフト推進の意義をアピールすることを目的に開催（年1回開催／15回開催）

3. 「モーダルシフト取り組み優良事業者」の公表

モーダルシフトの促進に関し、物流事業者の自主的な取り組みの奨励や、取り組み意識の高揚を図ることを目的に開催。（5回目）

4. 物流環境大賞の公表

物流部門において環境保全活動や環境啓発活動の面で優れた功績を残された団体・企業または個人を表彰し、環境施策の一層の推進を図ることを目的に平成12年に創立。

5. 「物流環境管理士養成講座」の開催

物流における地球温暖化・大気汚染防止、廃棄物の取扱いなどのテーマについて、実際の事例をもとに、環境負荷の軽減とコストの抑制を両立できる専門知識と管理技術を解説・指導する実務者養成講座。

6. 「グリーンロジスティクス推進フォーラム」の開催

2006年4月に施行された改正省エネ法により、特定荷主は中長期的に輸送に係わるCO₂排出原単位について年1%以上の削減努力が義務付けられています。

フォーラムでは、特定荷主などを対象にCO₂排出量原単位1%以上の削減を図るための各種削減策を紹介。